

2012年度事業報告

目次:

I 事業

| | | |
|---|----------------------------------|-------|
| 1 | 【ボランティアネットワーク事業】 | …2ページ |
| 2 | 【援助・交流事業】 | …3ページ |
| 3 | 【広報事業】 | …4ページ |
| 4 | 【研修事業】 | …4ページ |
| 5 | 【研究事業】 | …5ページ |
| 6 | 【地域密着型外部評価、介護・福祉サービス第三者 評価事業】 | …6ページ |
| 7 | 【企業・労働組合の社会貢献活動の推進】 | …6ページ |
| 1 | 【組織・運営体制整備】 | …7ページ |

II 組織・運営

| 事業項目 | 事業目的 | 事業内容 | 決算(千円) | 成果 | 課題 | 改善策 |
|--|---|--|--------|---|---|-----|
| ウエスグルーへの支援 活動歴四半世紀以上 26年近「グルー」であり、協会活動の支援者 ・メンバーの高齢化に よる、活動の継続を目 的に支援する。 ④ウエスグルー・スタッフによる諸 団体の啓発活動 ⑤関係団体への参加・協力・支援 (共同募金他) | 2013年3月末に某会社からたぐさんの寄贈品 を頂いた。バザーやイベント等に活用し、こ の収益金は、ボランティア活動に運用させて 頂きます。 | ①ウエスグルーの施設支援 ②メンバーの施設支援 ③ウエスグルーと「よりあいの 場」の充実 ④ウエスグルー・スタッフによる諸 団体の啓発活動 ⑤関係団体への参加・協力・支援 (共同募金他) | | ・月2回のウエス作業の実施。 ・他に青少年街頭活動等が積極的に行わ れている。 ・作業場所である大蔵寺ボランティア協会 分室では、この近所との交流もあり「よりあ いの場」も充実している。 ・2011年から京都市障害者スポーツセン ターの「ウエスエス会」や「地域ふれあい感 を生活化させる」 京都市マナーネット回収事 業に障害者の団体のボラン ティアとウエスメンバーが 参加。 ・2011年以来メンバー やアクトボア(ハーブ摘み 取体験)では世代交流を 楽しんでいる。 | ・高齢者の居場所作りとし て大徳寺分室が京都市長 寺福祉課に登録し、助成金 の交付を受けている。 ・メンバーが現在11名。目 的のある居場所として人気 が高い。作業する場所が狭 い。 ・高齢者のための設備(バ ンパー)は必要である。 | |
| 継続 通年 | 月2回第2、4木曜他 | | | | | |

【3. 広報事業】

| 事業項目 | 事業目的 | 事業内容 | 決算(千円) | 成果 | 課題 | 改善策 |
|--|--|-------------------------------------|---|------------------------------------|----|-----|
| 「ボランティア」きょうり 「ボランティア」発行(年4～5回) 「きょうり」発行(年4～5回) ・ホームページにて情 報の公表を行い広く市 民への広報活動。 | 「ボランティア」きょうり 「ボランティア」発行(年4～5回) ・ホームページにて情 報提供と発信。 「他媒体による情報 発信」 | 「ボランティア」発行(年4～5回) 収入 0 支出 714 | ・ボランティア157号～160号発行。2012 年度から広告募集掲載。 を検討する | ホームページなど 情報発信などの企画など を充実させる。 | | |

【4. 研修事業】

2012年度は、岡本民夫理事長他によるはじめの一步「ボランティア講座」を15回の連続講座・実践講座・実地講座で開催した。参加人数延べ94人。(別添資料3)

| 事業項目 | 事業目的 | 事業内容 | 決算(千円) | 成果 | 課題 | 改善策 |
|--|---|---|----------------------|--|--|---|
| 記録手法・ITによる情報発 信講座 活動記録や広報活動 などの作成に必要な技 法を学習する。 | ・身近な地域のボランティア 高専1学年、3学年対象にボラン ティア講座を担当する。ボラン ティア活動等を紹介し、活動 の理解を深める。 ・主に障害者や、ボラン ティア活動をしている当 事者と交流し活動の推進 に繋げる。 | ・活動記録や広報活動(チラシ 等)に必要な技法を学ぶ。 ・高専1学年、3学年対象にボラン ティア講座を担当する。ボラン ティア活動等を紹介し、活動 の理解を深める。 ・主に障害者や、ボラン ティア活動をしている当 事者と交流し活動の推進 に繋げる。 | 収入 1,033 支出 1,323 | ・ボランティア活動の企画や広報にバク クは必須条件である。 ・当協会の祭実行委員が講師になり、生徒 になったりと良い関係が作れた。 ・毎回授業に関する生徒のレポートから思 いや字びが確認でき、講師にも届け交際 につなげた。 ・京ボ祭りに講座の紹介が出来た。 ・講師派遣の広報をホームページに掲載。 | ・ボランティアの文化祭にボラン ティア活動や授業のバブル展示 が出来ないか。 | ・在宅医療に関心が高まっている今日、在 宅医療に係っている医師と一にあって ボランティアの求めている企画の 調査とともに、社会が求めて 作る。 |
| 華頂高等学校ボランティア 講座への講師派遣 (通年・2ヶ月入) | ・身近な地域のボランティア 高専1学年、3学年対象にボラン ティア講座を担当する。ボラン ティア活動等を紹介し、活動 の理解を深める。 ・主に障害者や、ボラン ティア活動をしている当 事者と交流し活動の推進 に繋げる。 | ・活動記録や広報活動(チラシ 等)に必要な技法を学ぶ。 ・高専1学年、3学年対象にボラン ティア講座を担当する。ボラン ティア活動等を紹介し、活動 の理解を深める。 ・主に障害者や、ボラン ティア活動をしている当 事者と交流し活動の推進 に繋げる。 | | ・在宅医療に関心が高まっている今日、在 宅医療に係っている医師と一にあって ボランティアの求めている企画の 調査とともに、社会が求めて 作る。 | | |
| 高齢者・障がい者・子ども 分野講座実施 | ・身近な地域のボランティア 高専1学年、3学年対象にボラン ティア講座を担当する。ボラン ティア活動等を紹介し、活動 の理解を深める。 ・主に障害者や、ボラン ティア活動をしている当 事者と交流し活動の推進 に繋げる。 | ・活動記録や広報活動(チラシ 等)に必要な技法を学ぶ。 ・高専1学年、3学年対象にボラン ティア講座を担当する。ボラン ティア活動等を紹介し、活動 の理解を深める。 ・主に障害者や、ボラン ティア活動をしている当 事者と交流し活動の推進 に繋げる。 | | ・在宅医療に関心が高まっている今日、在 宅医療に係っている医師と一にあって ボランティアの求めている企画の 調査とともに、社会が求めて 作る。 | | |

【5. 研究事業】

| | |
|--|--|
| <p>ワキコーセーエフ協新入社 機会とする。 ・企業等の社会貢献活動の啓蒙や推進。 ・ボランティア体験講座の企画・実施 講師派遣5月・6月</p> | <p>福祉史跡と専攻がイテ兼 成講座実施</p> |
| <p>既存の冊子「福祉史跡と専攻」を学習し市民に広く紹介する。 ・京都の福祉史跡と専攻を学習し内できるがイテの養成を図る。 京都の福祉の歴史を学ぶ機会とする。</p> | <p>〇人材育成とする。 ・社会貢献のあり方・意義と学ぶ機会を提供(ボランティア活動紹介会) ・ボランティア活動や講座の情報提供や発信。</p> |
| <p>・現在、史跡がイテ担当者は2名。2012年度は福祉史跡と専攻がイテ講座を実施した。 「ライフハウス」や「小河流次郎」の編で民生院大学の発祥等の座学を終え、法然寺で学ぶ。 法然院買主榎田真章(かじましん)と、1956年-)の講和に参加し、京都の福祉について学んだ。</p> | <p><座学も早が機会になったと好評。福祉の場でのボランティア活動は、社員だけではぬえないだろうが、「ボランティア」の原則には、一人の育成に興味を持つ機会であり、利用者の方を含めて喜んでいただけました。 この大切さをどう伝えるか。</p> |
| <p>・先駆者が残した京都の福祉史跡は社会福祉への認識を新たにしている。 ・史跡に興味あるボランティアが中心になり、サークル等を作り、専攻がイテを活用できるようになりたい。</p> | <p>・事業として継続するのは難しい。 ・史跡に興味あるボランティアが中心になり、サークル等を作り、専攻がイテを活用できるようになりたい。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>京都市で「ごみ量を減らす」という目標を掲げ、古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・ごみ量の約3分の1を占めており、減量・リサイクルの推進が特に重要な課題となっている。</p> | <p>京都市で「ごみ量を減らす」という目標を掲げ、古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・ごみ量の約3分の1を占めており、減量・リサイクルの推進が特に重要な課題となっている。</p> |
| <p>・京都市では、「ごみ量を減らす」という目標を掲げ、古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・ごみ量の約3分の1を占めており、減量・リサイクルの推進が特に重要な課題となっている。</p> | <p>・京都市では、「ごみ量を減らす」という目標を掲げ、古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・ごみ量の約3分の1を占めており、減量・リサイクルの推進が特に重要な課題となっている。</p> |
| <p>・京都市では、「ごみ量を減らす」という目標を掲げ、古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・ごみ量の約3分の1を占めており、減量・リサイクルの推進が特に重要な課題となっている。</p> | <p>・京都市では、「ごみ量を減らす」という目標を掲げ、古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・ごみ量の約3分の1を占めており、減量・リサイクルの推進が特に重要な課題となっている。</p> |
| <p>・京都市では、「ごみ量を減らす」という目標を掲げ、古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・ごみ量の約3分の1を占めており、減量・リサイクルの推進が特に重要な課題となっている。</p> | <p>・京都市では、「ごみ量を減らす」という目標を掲げ、古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・ごみ量の約3分の1を占めており、減量・リサイクルの推進が特に重要な課題となっている。</p> |
| <p>・京都市では、「ごみ量を減らす」という目標を掲げ、古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・ごみ量の約3分の1を占めており、減量・リサイクルの推進が特に重要な課題となっている。</p> | <p>・京都市では、「ごみ量を減らす」という目標を掲げ、古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・古紙と古着については、回収(以下「リサイクル回収」といっている。 ・ごみ量の約3分の1を占めており、減量・リサイクルの推進が特に重要な課題となっている。</p> |

【6. 地域密着型外部評価、介護・福祉サードセクター第三者評価事業】…別添4

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---------------------|------|---------------------|------|--|----|--|----|--|----|--|----|--|-----|----------------|
| 事業項目 | 地域密着型外部評価事業の充実 | 事業目的 | ・質の高い評価を目指す。・評価員の増員 | 事業内容 | 収入4,400 支出5,176 前年度より3事業所減となり、計60事業所となる。現在評価員の登録数が計11名である。それに打ち勝たなければならぬ。・審査後の運用について大幅な改革を講じない。・審査料を見直し、削減策を更に徹底する。・事務経費を見直し、削減策を更に徹底する。 | 課題 | ・新規の調査機関が参入して多数の事業所を運営する方法 本部にアプローチャを強化する ある。(現在継続中) が、それに打ち勝たなければならぬ。 ・審査料を見直し、削減策を更に徹底する。 | 成果 | 収入2,540 支出2,619 受診件数が前年度より1事業所減になり、20事業所となる。登録評価員は16名。 | 効果 | ・前年度より2事業所減になり、4事業所に留まる。 「社会的養護関係施設(京都府下25施設)の受診拡大」 ・受診料が高い福祉サードセクターの受診拡大が今後の課題である。 ・登録評価員は17名。 ・ローチャを現在展開中。 | 課題 | ・福祉サードセクターについては、調査ボリュームを鑑み、調査員の報酬を見直す。 ・福祉サードセクターの受診拡大が事務局)に対して、協会の法人など、支援機構(府社協)が一体となり、取り組む。 | 改善策 | ・効果的な事務運営体制の整備 |
| 事業項目 | 介護サードセクター第三者評価事業の充実 | 事業目的 | ・質の高い評価を目指す。・評価員の増員 | 事業内容 | 収入2,540 支出2,619 受診件数が前年度より1事業所減になり、20事業所となる。登録評価員は16名。 | 課題 | ・前年度より2事業所減になり、4事業所に留まる。 「社会的養護関係施設(京都府下25施設)の受診拡大」 ・受診料が高い福祉サードセクターの受診拡大が今後の課題である。 ・登録評価員は17名。 ・ローチャを現在展開中。 | 成果 | 収入2,540 支出2,619 受診件数が前年度より1事業所減になり、20事業所となる。登録評価員は16名。 | 効果 | ・前年度より2事業所減になり、4事業所に留まる。 「社会的養護関係施設(京都府下25施設)の受診拡大」 ・受診料が高い福祉サードセクターの受診拡大が今後の課題である。 ・登録評価員は17名。 ・ローチャを現在展開中。 | 課題 | ・福祉サードセクターについては、調査ボリュームを鑑み、調査員の報酬を見直す。 ・福祉サードセクターの受診拡大が事務局)に対して、協会の法人など、支援機構(府社協)が一体となり、取り組む。 | 改善策 | ・効果的な事務運営体制の整備 |
| 事業項目 | 福祉サードセクター第三者評価事業の充実 | 事業目的 | ・質の高い評価を目指す。・評価員の増員 | 事業内容 | 収入2,540 支出2,619 受診件数が前年度より1事業所減になり、20事業所となる。登録評価員は16名。 | 課題 | ・前年度より2事業所減になり、4事業所に留まる。 「社会的養護関係施設(京都府下25施設)の受診拡大」 ・受診料が高い福祉サードセクターの受診拡大が今後の課題である。 ・登録評価員は17名。 ・ローチャを現在展開中。 | 成果 | 収入2,540 支出2,619 受診件数が前年度より1事業所減になり、20事業所となる。登録評価員は16名。 | 効果 | ・前年度より2事業所減になり、4事業所に留まる。 「社会的養護関係施設(京都府下25施設)の受診拡大」 ・受診料が高い福祉サードセクターの受診拡大が今後の課題である。 ・登録評価員は17名。 ・ローチャを現在展開中。 | 課題 | ・福祉サードセクターについては、調査ボリュームを鑑み、調査員の報酬を見直す。 ・福祉サードセクターの受診拡大が事務局)に対して、協会の法人など、支援機構(府社協)が一体となり、取り組む。 | 改善策 | ・効果的な事務運営体制の整備 |

【7. 企業・労働組合の社会貢献活動の推進】

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|----------------|------|--------------------|------|--|----|--|----|---|----|---|----|--|-----|--|
| 事業項目 | 企業・労働組合との協働と交流 | 事業目的 | ・企業等の社会貢献活動の啓発や推進。 | 事業内容 | ①協賛事業(祭等)への参加および企画等への参画。 ②社会貢献のあり方・意義を学ぶ機会(ボランテア活動紹介、講師派遣等)の提供。 ③ボランテア活動や講座の情報提供や祭 | 課題 | ・協賛団体ボランテア参加の減少。 ・企業側への情報収集不足。 ・あるいは企業の社会貢献活動事例紹介など。 | 成果 | ・協賛団体ボランテア参加の減少。 ・企業側への情報収集不足。 ・あるいは企業の社会貢献活動事例紹介など。 | 効果 | ・2012年度は合計58,400円をギフトカードで受領(2013. 4. 11) 「ひとまち交流館 京都」10周年記念事業抽選券景品に使用予定) ・一人でも多くのボランテアを求めていく。 ・気整に参加できるボランテア協賛参加延べ45名。 ・協賛団体ボランテア参加の減少。 ・企業側への情報収集不足。 ・あるいは企業の社会貢献活動事例紹介など。 | 課題 | ・一人でも多くのボランテアを求めていく。 ・気整に参加できるボランテア協賛参加延べ45名。 ・協賛団体ボランテア参加の減少。 ・企業側への情報収集不足。 ・あるいは企業の社会貢献活動事例紹介など。 | 改善策 | ・一人でも多くのボランテアを求めていく。 ・気整に参加できるボランテア協賛参加延べ45名。 ・協賛団体ボランテア参加の減少。 ・企業側への情報収集不足。 ・あるいは企業の社会貢献活動事例紹介など。 |
| 事業項目 | 企業・労働組合との協働と交流 | 事業目的 | ・企業等の社会貢献活動の啓発や推進。 | 事業内容 | ①協賛事業(祭等)への参加および企画等への参画。 ②社会貢献のあり方・意義を学ぶ機会(ボランテア活動紹介、講師派遣等)の提供。 ③ボランテア活動や講座の情報提供や祭 | 課題 | ・協賛団体ボランテア参加の減少。 ・企業側への情報収集不足。 ・あるいは企業の社会貢献活動事例紹介など。 | 成果 | ・2012年度は合計58,400円をギフトカードで受領(2013. 4. 11) 「ひとまち交流館 京都」10周年記念事業抽選券景品に使用予定) ・一人でも多くのボランテアを求めていく。 ・気整に参加できるボランテア協賛参加延べ45名。 ・協賛団体ボランテア参加の減少。 ・企業側への情報収集不足。 ・あるいは企業の社会貢献活動事例紹介など。 | 効果 | ・2012年度は合計58,400円をギフトカードで受領(2013. 4. 11) 「ひとまち交流館 京都」10周年記念事業抽選券景品に使用予定) ・一人でも多くのボランテアを求めていく。 ・気整に参加できるボランテア協賛参加延べ45名。 ・協賛団体ボランテア参加の減少。 ・企業側への情報収集不足。 ・あるいは企業の社会貢献活動事例紹介など。 | 課題 | ・一人でも多くのボランテアを求めていく。 ・気整に参加できるボランテア協賛参加延べ45名。 ・協賛団体ボランテア参加の減少。 ・企業側への情報収集不足。 ・あるいは企業の社会貢献活動事例紹介など。 | 改善策 | ・一人でも多くのボランテアを求めていく。 ・気整に参加できるボランテア協賛参加延べ45名。 ・協賛団体ボランテア参加の減少。 ・企業側への情報収集不足。 ・あるいは企業の社会貢献活動事例紹介など。 |
| 事業項目 | 企業・労働組合との協働と交流 | 事業目的 | ・企業等の社会貢献活動の啓発や推進。 | 事業内容 | ①協賛事業(祭等)への参加および企画等への参画。 ②社会貢献のあり方・意義を学ぶ機会(ボランテア活動紹介、講師派遣等)の提供。 ③ボランテア活動や講座の情報提供や祭 | 課題 | ・協賛団体ボランテア参加の減少。 ・企業側への情報収集不足。 ・あるいは企業の社会貢献活動事例紹介など。 | 成果 | ・2012年度は合計58,400円をギフトカードで受領(2013. 4. 11) 「ひとまち交流館 京都」10周年記念事業抽選券景品に使用予定) ・一人でも多くのボランテアを求めていく。 ・気整に参加できるボランテア協賛参加延べ45名。 ・協賛団体ボランテア参加の減少。 ・企業側への情報収集不足。 ・あるいは企業の社会貢献活動事例紹介など。 | 効果 | ・2012年度は合計58,400円をギフトカードで受領(2013. 4. 11) 「ひとまち交流館 京都」10周年記念事業抽選券景品に使用予定) ・一人でも多くのボランテアを求めていく。 ・気整に参加できるボランテア協賛参加延べ45名。 ・協賛団体ボランテア参加の減少。 ・企業側への情報収集不足。 ・あるいは企業の社会貢献活動事例紹介など。 | 課題 | ・一人でも多くのボランテアを求めていく。 ・気整に参加できるボランテア協賛参加延べ45名。 ・協賛団体ボランテア参加の減少。 ・企業側への情報収集不足。 ・あるいは企業の社会貢献活動事例紹介など。 | 改善策 | ・一人でも多くのボランテアを求めていく。 ・気整に参加できるボランテア協賛参加延べ45名。 ・協賛団体ボランテア参加の減少。 ・企業側への情報収集不足。 ・あるいは企業の社会貢献活動事例紹介など。 |

| | | | |
|--------|---|--|--|
| 災害支援活動 | <p>・京都市宇治市に土納袋を寄与し、ふれあい券の抽選券の売上の10%を共同募金会のサラスポに寄付をした。(42千円)</p> <p>・京都市宇治市に土納袋を寄与し、ふれあい券の抽選券の売上の10%を共同募金会のサラスポに寄付をした。(42千円)</p> | | |
|--------|---|--|--|

II 組織・運営

【1. 組織・運営体制整備】…別添5

| 事業項目 | 事業目的 | 事業内容 | 事業成果・今後に向けて |
|--------------------|--|---|--|
| 組織基盤の強化 | <p>・会員増員・確保に取組み組織基盤を強化する。</p> <p>(賛助会員の拡大)</p> | <p>① 会員拡大委員会の設置</p> <p>2012年度 入会者21名 退会者16名</p> <p>② 協会紹介のイベントを2009年度末に改訂した。イベント等で団体・グループ・会員案内。役員・職員他は会員拡大に呼びかける協力が必須である。</p> <p>③ 京都市ボランティアセンター・新聞社・関係団体の広報媒体の活用。</p> <p>④ 理事、会員との交流の機会を設けるために総会後の交流会(講座等)を設けているがボランティアの参加が少ない。さらに呼びかけ連携の強化に努める。</p> | <p>① 会員の高齢化もあり、年々会員が減少している。会員拡大委員会の設置が急務である。</p> <p>2012年度 入会者21名 退会者16名</p> <p>② 協会紹介のイベントを2009年度末に改訂した。イベント等で団体・グループ・会員案内。役員・職員他は会員拡大に呼びかける協力が必須である。</p> <p>③ 京都市ボランティアセンター・新聞社・関係団体の広報媒体の活用。</p> <p>④ 理事、会員との交流の機会を設けるために総会後の交流会(講座等)を設けているがボランティアの参加が少ない。さらに呼びかけ連携の強化に努める。</p> |
| 運営体制の整備 | <p>・ボランティアと協調しつ、迅速効率的な事務執行体制を築き、運営体制を整える。</p> | <p>① 新公益社団法人移行事務体制の強化と、迅速な事務遂行</p> <p>② 事務局体制の整備(人員の補強)</p> <p>③ 理事、ボランティアスタッフ、事務局との連携の強化</p> <p>④ ボランティアスタッフ研修会の実施</p> <p>⑤ 評価・調査事業の管理・運営体制の整備</p> <p>(再掲) ⑥ 地域資源型外部評価、介護・福祉サービス第三者評価事業]</p> | <p>① 新公益社団法人化認定の申請をしたが財政の基盤が安定しないが認可不可。2012.3.6に一般社団法人に切り替え申請。京都市との協議の結果4/23一般社団として認可された。5月1日付けで法務局登記済。</p> <p>② 事務局全体でパートナー意識の芽生えつつあるが、事業を拡大・新しい事業に着手すると同時に事務の効率化をはかる事が急務である。</p> <p>③ 理事、ボランティアスタッフ、事務局との意見交換・交流兼ねてのサロン・実行委員会等での交流の場に進んで参加するように努めた。</p> <p>④ ねこのでらさんの事業(再掲)2012年は講座等を開催し、一般・会員の参加を増やす。継続のボランティアスタッフにボランティア保険の費用は協会負担(2012年対象ボランティア79人計23,700円)</p> |
| ボランティアネットワークの管理・運営 | <p>・有効な管理運営をし、友好的で開放的な場を創出する。</p> | <p>① 利用状況の把握・管理</p> <p>② 広報物の掲示・整理</p> | <p>・限られた団体および協会の利用中心で新たなグループの発掘が少ない。</p> <p>・他の団体 一般にも声をかけさらに輪を広げたい。</p> <p>2012年度利用者人数:のべ1684人(昨年度のべ2032人)</p> <p>・広報物の展示の呼びかけをし、整理に心がけ整理をしている。</p> |
| 財源の確保 | <p>・財源確保による安定した事業運営。</p> | <p>① 助成金の確保</p> <p>② ボランティア団体賠償保険の加入勧誘</p> <p>③ 会員拡大</p> | <p>① 京都市地域再生力、京都共同募金会、京都新聞社全福祉事業団、国際ソロプチミスト京都、会員、一般等からの寄付。</p> <p>② 他の団体・グループにも声をかけ、交流の場を設け、万一事故があった場合に備え、加入勧誘を進める。</p> <p>③ 一般社団法人移行後は、更に公益性のある事業を展開する。財政の安定化を図り、会員を拡大する。</p> |

小谷節子
藤木雄男
住任敏子
山田善敬
糸越田泉
藤本守
阿部秀雄
対田行雄

一般寄付者

阿部隆三
半田須雄子
阿部重信
福田博之
古賀田
三浦啓郎
山崎孝江
はぐみ基金

(敬称略・順不同)

山本賢治
小川善代子
松井三子
新井栄子
平野昭子
阿部隆三
丸清水社 賛
匿名3人

(敬称略・順不同)

平野昭子
西田晴子
阿部兄弟
糸越田泉
山口マミ子
阿部照生
松兼

(敬称略・順不同)

奥真木
鎌光新治
阿部隆二
上村正文
半田須雄子
京都市立奇蹟院 監診
つばき会
匿名2名

2012年度

I. ボランティア相談について

総合計326件(昨年度は344件)

〈2012年4月1日～2013年3月31日〉

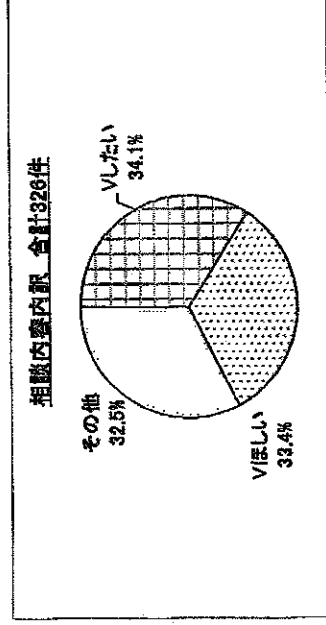
ボランティア相談からコーディネートは始まる。相談の内訳をまとめた。

その他の相談が106件(昨年105件)・・・パサーやウエスなどの物品提供35件、講座イベント情報、広報依頼が各19件、団体検索等12件が多かった。

1 相談

1-①相談内訳

| | 合計 | 11年度 |
|------|-----|------|
| Vしたい | 111 | 129 |
| Vほしい | 109 | 110 |
| その他 | 106 | 105 |
| 計 | 326 | 344 |



1-②協会を知った経路

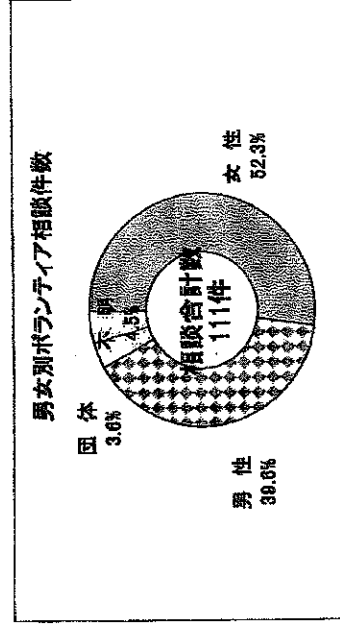
| | |
|------------|-----|
| 協会を知った媒体など | 78 |
| 協会ホームページ | 35 |
| 新聞 | 51 |
| リピーター | 87 |
| 関係団体・者 | 4 |
| 知人 | 19 |
| ボランティアセンター | 13 |
| きょうボラ・チラシ | 10 |
| その他 | 29 |
| 不明 | 326 |
| 計 | 326 |

※協会をすでに知っている人や団体からの相談が多い。
 次いで、協会ホームページを見て相談、リピーターである。
 「ボランティアしたい人」からの相談は、ホームページを見ての相談、
 「ボランティアほしい」(依頼相談)は関係団体やリピーター中心。

リピーター：以前に協会に依頼したことがある
 知人：問合せをしてきた本人の知り合い
 関係団体・者：協会員、登録ボランティア、関係団体など

2. Vしたい相談

| | 合計 | 11年度 |
|----|-----|------|
| 女性 | 58 | 77 |
| 男性 | 44 | 43 |
| 団体 | 4 | 7 |
| 不明 | 5 | 2 |
| 計 | 111 | 129 |



※ボランティアしたい相談から実際に実際に新規のボランティア登録に結びついたのは26.1%(29件の登録)

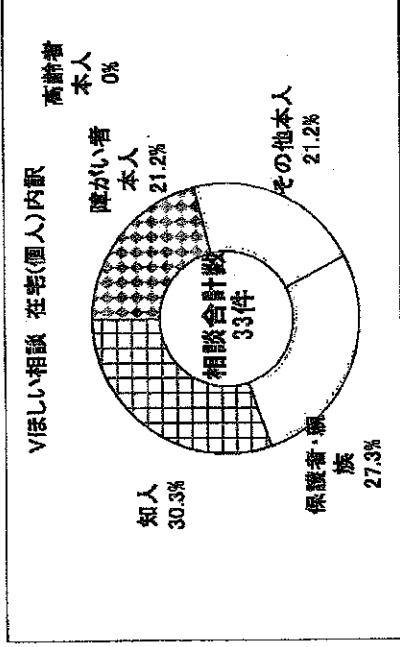
昨年度は36.4%

3. Vほしい相談

※ボランティアほしい相談からボランティア依頼となったのは52.7% (58件の新規依頼)

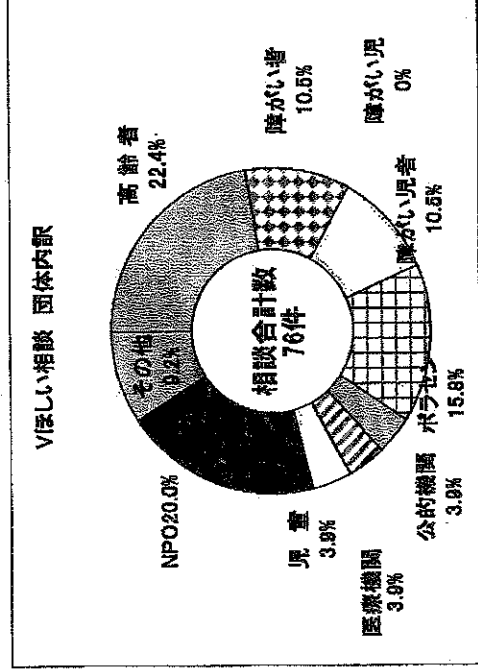
3-① Vほしい相談中 在宅(個人)内訳

| | | 合計 | 11年度 |
|--------|------|----|------|
| 本人 | 高齢者 | 0 | 7 |
| | 障がい者 | 7 | 10 |
| | その他 | 7 | 3 |
| 保護者・親族 | | 9 | 12 |
| 知人 | | 10 | 4 |
| 計 | | 33 | 36 |



3-② Vほしい相談中 団体内訳

| | | 合計 | 11年度 |
|-------|----|----|------|
| 高齢者 | 17 | 16 | |
| 障がい者 | 8 | 9 | |
| 障がい児 | 0 | 2 | |
| 障がい児者 | 8 | 9 | |
| ボラセン | 12 | 10 | |
| 公的機関 | 3 | 5 | |
| 医療機関 | 3 | 0 | |
| 児童 | 3 | 4 | |
| NPO | 15 | | |
| その他 | 7 | 19 | |
| 計 | 76 | 74 | |



注1) 団体内訳にはNPO、任意団体関係なくカウントしていたが、

2012年度からNPOを抽出した。

2012年度

Ⅱ. ボランテニア活動希望者について
(2012年4月1日～2013年3月31日)

総合計114人

：2011年度統計

統計表1 性別

| 総数 | 女性 | 男性 | 団体 |
|--------|----|----|----|
| 161 | 88 | 73 | 0 |
| 114 | 71 | 43 | 0 |
| 内新規登録者 | 23 | 6 | 0 |

統計表2 所属

| | 学生 | 勤労者 | フリーター | 無職 | その他 | 団体 | 総数 |
|------|----|-----|-------|----|-----|----|-----|
| 女性 | 13 | 34 | 1 | 21 | 2 | 0 | 71 |
| 11年度 | 16 | 38 | | 33 | 0 | 0 | 88 |
| 男性 | 9 | 14 | 2 | 15 | 3 | 0 | 43 |
| 11年度 | 12 | 28 | 2 | 28 | 3 | 0 | 73 |
| 小計 | 22 | 48 | 3 | 36 | 5 | 0 | 114 |
| 11年度 | 28 | 86 | 3 | 81 | 3 | 0 | 161 |

【学生内訳】

| | 12年度 | 11年度 |
|------|------|------|
| 大学 | 18 | 28 |
| 短大 | 0 | 0 |
| 専門学校 | 4 | 0 |
| 高校生 | 0 | 0 |
| 不明 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 |
| 合計 | 22 | 28 |

統計表3 年代

| | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 | 不明 | 総数 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|----|-----|
| 女性 | 2 | 25 | 12 | 9 | 10 | 9 | 4 | 0 | 71 |
| 11年度 | 1 | 28 | 20 | 9 | 11 | 15 | 3 | 1 | 88 |
| 男性 | 1 | 12 | 11 | 7 | 2 | 6 | 4 | 0 | 43 |
| 11年度 | 2 | 20 | 14 | 11 | 6 | 13 | 7 | 0 | 73 |
| 小計 | 3 | 37 | 23 | 16 | 12 | 15 | 8 | 0 | 114 |
| 11年度 | 3 | 48 | 34 | 20 | 17 | 28 | 10 | 1 | 161 |

※協会専業参加のボランテニア数は除いています(きょうぼうふれあい寮など)。

※10代から30代が55%。学生の割合は少ない。

統計表4 地域別ボランテニア希望者受付

| | 12年度 | 11年度 |
|-------|------|------|
| 市 | 3 | 9 |
| 北 区 | 18 | 24 |
| 左 京 区 | 7 | 12 |
| 上 京 区 | 9 | 15 |
| 中 京 区 | 8 | 13 |
| 下 京 区 | 10 | 14 |
| 右 京 区 | 7 | 7 |
| 面 京 区 | 5 | 6 |
| 内 | 10 | 9 |
| 山 科 区 | 8 | 8 |
| 南 区 | 18 | 25 |
| 伏 見 区 | 0 | 0 |
| 市内不明 | 103 | 142 |
| 小 計 | 9 | 14 |
| 府 内 | 2 | 5 |
| 府 外 | 114 | 161 |
| 合 計 | | |

登録ボランテニア 114人中(昨年度 161人)

活動人数(紹介人数) 73人(うち新規V活動24人)

そのうち単発の活動参加 26人

協会での活動0回の人 46人

登録者中の協会会員 11人

※40.3%(昨年度58%)の人が協会への依頼ケースのボランテニア

活動はしていない。寮や協会内での活動には38人が参加している。

2012年度の特徴

①新規登録ボランテニア減少。特に男性ボランテニアが大きく減少した。

※継続登録者：継続したボランテニア活動をしている人、単発のボランテニア

活動をした人、継続登録者が3割程度減少した。

②登録後、依頼に対応できる、応えられるボランテニアが少ない。

③登録者のうち、障がいや疾病のある人は、23人(昨年度25人)

2011年度

71人

3人

84人

統計表5 依頼者区分別ボランティア紹介数

| | 障がい児 | | 障がい者 | | 障がい児者 | | 高齢者 | | 児童 | | その他 | | 合計(ケース数) | |
|----|------|----|------|----|-------|----|-----|----|----|----|-----|----|----------|----|
| | 在宅 | 団体 | 在宅 | 団体 | 在宅 | 団体 | 在宅 | 団体 | 在宅 | 団体 | 在宅 | 団体 | 在宅 | 団体 |
| 5 | | | 12 | | 0 | | 17 | | 1 | | 5 | | | 40 |
| 2 | | | 10 | | 1 | | 17 | | 3 | | 6 | | | 46 |
| 在宅 | 9 | 0 | 9 | 12 | 0 | 0 | 15 | 16 | 0 | 2 | 3 | 7 | | 73 |
| 2 | 0 | 0 | 10 | 12 | 1 | 1 | 12 | 10 | 2 | 5 | 0 | 9 | | 71 |

※一人で複数回活動した人がいる。

統計表6 月別依頼者別新規ボランティア紹介数(詳細)

| | 在宅(個人) | | | | | | | | | | | | 団体 | | | | | 計 | | | | | | | |
|-----|--------|----|------|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|------|----|------|----|-----|---|----|----|-----|----|----|----|----|
| | 障がい児 | | 障がい者 | | 高齢者 | | 児童 | | その他 | | 小計 | | 障がい児 | | 障がい者 | | 高齢者 | | 児童 | | その他 | | 小計 | | |
| | 在宅 | 団体 | 在宅 | 団体 | 在宅 | 団体 | 在宅 | 団体 | 在宅 | 団体 | 在宅 | 団体 | 在宅 | 団体 | 在宅 | 団体 | 在宅 | | 団体 | 在宅 | 団体 | 在宅 | 団体 | 在宅 | 団体 |
| 4月 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 5月 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| 6月 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 7月 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 8月 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 9月 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 10月 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 11月 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 12月 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 1月 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 2月 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 3月 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 計 | 9 | 9 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 36 |

※紹介数は、1度でも活動した人のこと。

統計表7 依頼内容

| | 在宅 | | 団体 | | 合計 | |
|----------|---------|------|------|------|------|------|
| | 12年度 | | 13年度 | | 12年度 | |
| | 12年度 | 13年度 | 12年度 | 13年度 | 12年度 | 13年度 |
| 友誼 活動 | 話し相手 | 15 | 17 | 2 | 1 | 17 |
| | 遊び相手 | 7 | 10 | 4 | 4 | 11 |
| | 保育 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 |
| | その他 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 生活 介助 | 歌草援助 | 12 | 12 | 0 | 1 | 12 |
| | 身体介助 | 4 | 19 | 1 | 7 | 5 |
| | 訓練等 | 6 | 6 | 1 | 0 | 7 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 通学・通簿 | 11 | 18 | 0 | 0 | 11 |
| 外出 介助 | 行楽・観光 | 3 | 3 | 1 | 7 | 4 |
| | 祭典・趣味 | 19 | 21 | 0 | 0 | 19 |
| | その他 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 |
| 技能 提供 | 家庭教師・音訳 | 4 | 3 | 0 | 0 | 4 |
| | パソコン等 | 3 | 7 | 1 | 0 | 4 |
| | レク | 0 | 3 | 5 | 4 | 5 |
| | その他 | 5 | 4 | 1 | 0 | 6 |
| 行事援助 | | 16 | 22 | 18 | 22 | 32 |
| メンバー募集 | | 4 | 2 | 4 | 2 | 8 |
| 合 計 | 91 | 145 | 42 | 46 | 133 | 191 |

→自宅の片づけ(大掃除)、限まで利用した後の買物など。

→身近な買物、散歩などの外出。

→家庭教師、朗読披露。

→パソコン初歩からデジタル編集まで

→特技披露など

→ギター、囲碁、リフォーム、手芸など。

注1)身体介助:食事・トイレ・入浴介助以外に体に触れるものも含む

注2)余暇:趣味:買物、神社仏閣、映画、散歩、など

注3)依頼内容が重複するため合計数が依頼件数より多くなっている。

たとえば、一人の依頼内容で、自宅での話し相手や遊び相手に加えて、外出するようなケース。

統計表1

A～Dの開催における対応回数について

| 対応回数合計 | 依頼者との対応回数 | | ボランティアとの対応回数 | |
|--------|-----------|----------|--------------|----------|
| | 訪問・来訪回数 | TEL・メール等 | 訪問・来訪回数 | TEL・メール等 |
| 270 | 1562 | 94 | 619 | 943 |
| 1832 | | 713 | | 1119 |
| 1927 | | 779 | | 1148 |

(注) 対応回数とは電話やメールのやりとり・訪問・来訪などの回数のこと

統計表2

| 区分 | 依頼者について | | クライアントの住む地域 | | | |
|------|---------|----|-------------|-----|----|---|
| | 個人 | 団体 | 障がい者 | 高齢者 | 児童 | 他 |
| 総数 | 112 | 29 | 40 | 1 | 40 | 3 |
| 2011 | 111 | 21 | 35 | 2 | 39 | 4 |
| A | 67 | 15 | 28 | 1 | 22 | 0 |
| 2011 | 72 | 17 | 28 | 1 | 26 | 0 |
| B | 16 | 0 | 7 | 1 | 7 | 1 |
| 2011 | 8 | 1 | 2 | 1 | 4 | 0 |
| C | 9 | 9 | 2 | 1 | 2 | 1 |
| 2011 | 10 | 10 | 3 | 2 | 2 | 1 |
| D | 20 | 20 | 3 | 0 | 9 | 1 |
| 2011 | 21 | 21 | 4 | 1 | 7 | 3 |

※依頼者のうち、協会員は2人。

※統計表の説明

| | |
|---|----------------------|
| A | 在宅(個人)継続ケース |
| B | 在宅(個人)単発ケース |
| C | 施設・ボランティアグループ等の継続ケース |
| D | 施設・ボランティアグループ等の単発ケース |

統計表3 地域別依頼受付数

| | | |
|-------|-----|-----|
| 北 区 | 6 | 10 |
| 左 京 区 | 10 | 8 |
| 上 京 区 | 3 | 7 |
| 中 京 区 | 5 | 4 |
| 下 京 区 | 10 | 13 |
| 右 京 区 | 16 | 14 |
| 西 京 区 | 14 | 12 |
| 東 山 区 | 5 | 8 |
| 山 科 区 | 15 | 11 |
| 南 区 | 5 | 4 |
| 伏 見 区 | 16 | 12 |
| 小 計 | 105 | 102 |
| 府 内 | 4 | 6 |
| 府 外 | 3 | 3 |
| 合 計 | 112 | 111 |

統計表4 受理後の処理について

| 区分 | 総数 | 処理内容 | | |
|----|-----|---------------|----------|-------|
| | | 1.V紹介(内団体等紹介) | 2.V紹介できず | 3.その他 |
| 総数 | 112 | 56 | 45 | 11 |
| A | 67 | 32 | 29 | 6 |
| B | 16 | 9 | 4 | 3 |
| C | 9 | 0 | 9 | 0 |
| D | 20 | 15 | 3 | 2 |

1. V紹介: 1人でもボランティアを紹介した、あるいは継続しているボランティアがいる依頼
2. V紹介できず: ボランティアを1人も紹介できなかった依頼
3. その他: 依頼者からのキャンセル、依頼者の死去

(別紙 2-1) 事業報告書

| | |
|--|---|
| 団体名 | 社団法人京都ボランティア協会 |
| 事業名 | 第6回きょうボラふれあい祭 ～つなげよう、ひろげよう、みんなでつくるみんなのわ～ |
| 【具体的な活動内容】 | (事業の趣旨、実施日時、場所、参加者の状況、事業内容等) |
| 実施日時 | 2012年9月23日(日) 10時～16時 |
| 場 所 | 「ひと・まち交流館 京都」全館(京都市下京区梅津町 87-1) |
| 事業趣旨 | ボランティアに関わる様々なグループやNPO、地元地域含めて交流、発信する場であり、様々な年代層やハンデいの有無を越えて楽しんで、「わ」が繋がりが大きく広がっていくことを希望して実施。 |
| 参加者状況 | 来館数(概算) 約 1500人 |
| ※参加団体 | 市場・模擬店 28、ワークショップ 5、ステージ 13、親子広場 4、中継等 2 計 52 |
| ※当日ボランティア | 135人(別にボランティアスタッフ等 27人) 前日は 26人 |
| 事業内容 | 企画で目新しいのは親子広場。例年の市場(模擬店・自主製品販売、ワークショップ系)、ステージ、スタンプラリー、広報・PRコーナー、バザー、抽選会、ボランティア相談等コーナーは同様に開催。 |
| 【活動の成果】 | (今回の事業を通じてうまれた連携や地域での活動の拡がり、気づいた点など) ・昨年度来客数減少を受け、新聞折込以外に、「ひと・まち交流館 京都」周辺への広報(各戸配布、ポスター掲示)を充実した。その際には地元学区役員の方などにお世話になり、保育園や児童館への広報にも役立った。また事前交流としては、灯籠流しの行事に当協会として初参加、ボランティア手作りの灯籠を作り流すことができた。祭当日は3学区から出店していただくことができた。朝の雨の影響もあつたが、来場者は下京区民が一番多かった。 |
| ・新たな参加団体として | 東日本震災支援をしている団体、当事者たちの歌(手話)や沖縄物産の店、親子広場のメンバーも新たな顔ぶれであった。参加団体やボランティアスタッフからの紹介などで新たな「わ」をひろげることができた。 |
| ・協賛団体から現地学習の一環で見学 | (総勢 44人)に來られたり、京都府の「思いやり駐車場」啓発ブースを設け、祭当日にミニシンポジウムも開催した。 |
| ・平面フロアでない弱点を解消するため、急遽各部屋にモニターテレビを置き、ステージ中継を行った。これが参加団体にも好評であった。ステージの様子がリアルタイムでわかり、参加団体同士の交流にも一役買い、来場者や各フロアのボランティアにも様子がわかり良かったと感想を頂いた。モニターテレビは協賛団体から借り受け、中継はNPOグループが担当、協力者の「わ」も広がりを見せた。 | |
| ・ボランティアスタッフの新たなアイデアのつまった祭で、各所からの協力を得て開催することができた。参加団体も来客も楽しんで過ごしてもらったことができ、祭だけでなく今後の活動へと継続的なつながりの持てるような下地ができた。 | |
| ※ | 活動の成果、事業効果について、報告書やアンケート結果があれば、別途添付ください。 |

はしめの一歩 「ボランティア講座」

この講座は、府内・市内にお住まいの方でボランティアをしたい方を対象に開催します。ボランティアをするために基礎的な知識を学びたいという方は是非参加してください。講座受講後、グループをつくり現場見学（施設等）または現場体験を開催する予定です。終了後、自主活動につなげ、座学のアーカイブづくりを行う。

会場：「ひと・まち交流会 京都」1階 ボランティアビュロー

| 日・曜日 | 開催時間 | テーマ (内容) | 講師 | 参加費無料 |
|-----------|-----------------|--|-------------------|--------------------------|
| 6月16日(土) | 13:30～ 15:00 | 現代社会とボランティアの意義 理念と具体化 | 同志社大学名誉教授 岡本民夫 | 資料代 200円 |
| 6月23日(土) | 15:30～ 17:00 | 認知症あんしんサポーター講座 (オレンジリング) | 京都市長寿すこやか センター | 無料 |
| 7月14日(土) | 14:00～ 16:30 | 高齢社会に必要なボランティア 認知症の人とのかかわり方等 | 大矢治世先生 内科医 | 無料 |
| 7月21日(土) | 13:30～ 15:00 | ボランティアの役割と機能 その使命と現実 | 同志社大学名誉教授 岡本民夫 | 資料代 200円 |
| 8月4日(土) | 13:30～ 15:00 | ボランティア活動の多様化と参加の様態 | 〃 | 資料代 200円 |
| 9月8日(土) | 13:30～ 15:00 | ボランティア活動・各論(1) 地域・在宅編 | 〃 | 資料代 200円 |
| 10月6日(土) | 13:30～ 15:00 | ボランティア活動・各論(2) 高齢者支援編 | 〃 | 資料代 200円 |
| 10月13日(土) | 13:30～ 15:00 | ボランティア活動に必要なパソコン講座 「ボランティア教材 ちらし・ラベルづくり等」 | 協会職員 応援 古澤・森 | 資料代 200円 |
| 11月10日(土) | 13:30～ 15:00 | ボランティア活動・各論(3) 児童福祉編 | 同志社大学名誉教授 岡本民夫 | 資料代 200円 |
| 12月8日(土) | 13:30～ 15:00 | ボランティア活動・各論(4) 文化・環境編 | 〃 | 資料代 200円 |
| 12月14日(金) | 13:30～ 15:00 | 京都福祉史跡&事跡ガイド 京都ライイトハウス見学 | 協会理事 公文茂人 | ガイドブック 500円 (交通費自己負担) |
| 1月12日(土) | 13:30～ 15:00 | ボランティア活動・各論(5) 障害児者編 | 当協会相談役 小谷節子 | 資料代 200円 |
| 1月19日(土) | 13:30～ 15:00 | 京都福祉史跡&事跡ガイド 京都福祉史跡見学 | 元大阪体育大学教授 間 哲朗 | ガイドブック 500円 (交通費自己負担) |
| 2月9日(土) | 13:30～ 15:00 | ボランティア活動・各論(6) 認知症をめぐって | 同志社大学名誉教授 岡本民夫 | 資料代 200円 |
| 希望者参加 | 実践 体験講 座 | ボランティア実践講座 ① 視覚障がい者手引講習会 ② 車椅子移動介助講習会 | 廣瀬吉史先生 島田喜代子先生 | |

平成24年度(2012) 研修会(勉強会)実績

| 研修会名・テーマ | 日時 | 場所 | 講師(敬称略) | 対象者 | 参加数 |
|---|--------|----------------------------|-----------------------------|-----------------|-----|
| 介護事業所 見学 | 7月8日 | 小笠原多摩保健現況介護事業所 【嵐山寮ひさわ】 | 管理 吉永 光博 | 課員・課長 | 8 |
| 「認知症高齢者のケアと評価事業に期待すること」 | 9月1日 | 京都市社会福祉会館 | 「認知症の人と家族の代表者」 高見 国夫 | 〃 | 17 |
| 新人・現任評価・調査者合同会議 | 9月1日 | 京都市社会福祉会館 | 進行:事務部 | 〃 | 15 |
| 評価報告書をもとに評価機関、評価調査者に望みたいこと | 10月9日 | ひと・まち交流館京都 地下7階「クワイ」 | 元 小規模管理 現在「イサエ」 上田 亮子 | 〃 | 9 |
| 報告書の書き方・協会としての考え方及びマニュアル | 10月28日 | ひと・まち交流館京都 ホウチャイビューロー | 課員・課長 斎藤 妙子 | 〃 | 10 |
| 「評価・調査者として理解しておきたい12年度介護保険改正のポイント及び今後の動向」 | 11月17日 | ひと・まち交流館京都 地下7階「クワイ」 | 元 介護所 介護・地域福祉課 副課長 斎藤 康行 | 〃 | 11 |
| 「地域密着型サービス」のポイントについて | 12月11日 | ひと・まち交流館京都 ホウチャイビューロー | 課員・課長 小谷 節子 | 〃 | 8 |
| 介護現場における介護計画とモニタリングの現状と課題について | 1月27日 | ひと・まち交流館京都 ホウチャイビューロー | 課員・課長 斎藤 妙子 | 〃 | 9 |
| 認知症医療とケアに関する理念・考え方～京都市「認知症ケアの定義10箇条」が目指すケアのあり方～ | 2月23日 | 京都市社会福祉会館 | 京都大学医学部医務局 老年内科診療科 武知 一 | 事業所・一般 課員・課長 | 141 |
| 第三者評価 福祉サービス「社会的養護関係施設」伝達研修 | 2月23日 | 京都市社会福祉会館 | 課員・課長 松岡 孝代 | 課員・課長 | 8 |
| 平成24年度「振り返りの会」 | 5月11日 | 京都市社会福祉会館 | 進行:事務部 | 〃 | 16 |
| 交流・懇親会(会費制) | 5月11日 | 京都市社会福祉会館 | 進行:事務部 | 〃 | 15 |

理事會開催状況

2012年度

| 回数 | 日程 | 主な議案・協議事項 |
|-------|------|--|
| 第118回 | 5/7 | 2011年度事業報告・収支決算報告承認される。監査報告・役員改選について。公益法人移行関係について。 |
| 第1回総会 | 5/19 | 2011年度事業報告・収支決算報告承認される。監査報告・役員改選について。公益法人移行関係について。 |
| 第119回 | 6/22 | 2012年度事業担当理事・相談役の選出につて・評価事業「企画委員会」について。 |
| 第120回 | 9/3 | 公益法人移行に関わる財政健全化及び基盤造成の取り組みについて。地域密着型サービス評価調査事業について。 |
| 第121回 | 11/8 | 公益法人移行申請の取下げについて。基盤造成委員会設置要項(案)について。 |
| 第122回 | 1/16 | 臨時総会開催について(案)。一般社団法人移行の決議・一般社団定款(案)について。移行当初の理事の選任・会費規程(案)について。基盤造成委員会に関わる事務局作業について。 |
| 臨時総会 | 2/9 | 一般社団法人移行への決議・一般社団法人定款の決定・移行当初の理事の選任・会費規程(案)について |
| 第123回 | 3/1 | 一般社団法人移行申請について。福祉ボランティアセンター夜間業務の一部受託について。2013年事業計画案・2013年予算書(案)確認。 |
| 第2回総会 | 3/24 | 2013年事業計画案・2013年予算書(案)確認。一般社団法人移行関係について。一般社団法人認定申請について3/6 |

*新公益法人制度への移行関連会議等 (2008年12月5日法施行)

—新法についての説明会参加状況—

| | |
|-------|---|
| 8/30 | 新公益法人制度改革に係る公益法人の審議会で「現在の財政状況では公益社団法人は認められないとの委員から意見があり、認証は見送られた。 |
| 11/16 | 新公益法人申請に係る個別相談(京都府職員福利厚生センター)～公益法人の申請の取下げについての内容確認～ |
| 11/21 | 新公益法人申請については、取下げ決定・一般社団法人移行認可申請に切り替え |
| 2/22 | 新一般社団法人申請に係る個別相談(京都府職員福利厚生センター)～一般社団法人の申請の内容確認について～ |
| 3/6 | 新一般社団法人移行申請書の提出(電子申請) |
| 4/23 | 京都府から一般社団法人移行の認可を受ける。 |
| 5/1 | 新公益法人制度改革に係る一般社団法人登記完了。 |

定例的な作業・会議

- ・基盤強化委員会(協会再生プラン)17回開催
- ・調査員勉強会
- ・幸せの黄色いレシートキャンペーン:毎月11日
- ・ウエス作業&ミニバザー:毎月第2・4木曜日
- ・京都市マナーゲート回収事業:毎月第1・3木曜日
- ・「ひと・まち交流会京都」共同管理委員会:毎月最終木曜日
- ・事務局会議:第1・2・4火曜日
- ・華頂女子高校エデュ・コースV講座(講師派遣毎月2回~3回水・土曜日)
- ・第三者評価審査会・地域密着型審査会
- ・京都府青少年育成会街頭活動
- ・祭準備・実行委員会 祭スタッフ説明会
- ・調査員企画運営委員会

【京都ボランティア協会所属委員会】

- 京都府犯罪被害者支援連絡協議会委員
- 京都府犯罪のない安心・安全まちづくり推進本部会議委員
- 京都府市民参画会議委員
- 京都府福祉のまちづくり推進協議会委員
- 京都府福祉審議会委員
- 京都府福祉移殖対策連絡協議会委員
- 京都府造血幹細胞移植者福祉審議会委員
- 京都府精神障害者サービス総合調整推進会議委員
- 京都府高齢者サークル検討委員会
- 京都府社会福祉協議会理事
- 京都府社会福祉協議会評議委員
- 京都市福祉ボランティアセンター運営委員
- 京都市障害者スポーツ振興会顧問
- 京都市アジェンダ21フォーラム幹事会委員
- 京都市ごみ減量推進会議理事
- 京都市ユースサービス協会評議委員
- 京都市障害者スポーツセンター評議委員
- 京都介護・福祉第三者評価等支援機構委員
- 京都府災害ボランティアセンター委員

2012年度カレンダー

| | | | | | |
|----|--------|------------------------------------|-----|--------|----------------------------------|
| 4月 | 8日(日) | ねこのてさろん花見 大徳寺分室ミニバザー | 10月 | 1日(日) | 赤い羽根共同募金活動 |
| 4月 | 11日(水) | 黄色いシートキャンペーン 2011年度分贈呈式 | 10月 | 3日(水) | 青少年街頭活動 |
| 5月 | 7日(月) | 第118回決算理事会 | 10月 | 6日(土) | はじめの一步「ボランティア講座」高齢者支援編 |
| 5月 | 14日(月) | 新社会人向けボランティア研修A (ワタキューグループ様) | 10月 | 13日(土) | はじめの一步「ボランティア講座」パソコン講座 |
| 5月 | 25日(金) | 新社会人向けボランティア研修B (ワタキューグループ様) | 10月 | 14日(日) | 福祉ボランティア・社協フェスタ バザー出展 ねこのてさろん |
| 6月 | 4日(月) | 新社会人向けボランティア研修B (ワタキューグループ様) | 10月 | 27日(土) | 第6回きょうぼうふれあい祭振り返りの会 |
| 6月 | 6日(水) | はじめの一步「ボランティア講座」現代社会とボランティアの意義 | 10月 | 28日(日) | 研修勉強会 |
| 6月 | 16日(土) | ウエスグループ施設見学「旭光園あらしやま」 | 11月 | 4日(日) | 善治福祉まつり |
| 6月 | 20日(水) | はじめの一步「ボランティア講座」認知症あんしんサポーター講座 | 11月 | 8日(木) | 朗読発声ワークショップ |
| 6月 | 23日(土) | 朗読発声ワークショップ | 11月 | 10日(木) | はじめの一步「ボランティア講座」児童福祉編 |
| 6月 | 29日(金) | 朗読発声ワークショップ | 11月 | 11日(日) | 「下京ふれ愛広場」に参加 |
| 7月 | 1日(日) | ねこのてさろん「ボウリング大会」開催 | 11月 | 20日(火) | ひと・まち交流館防災非難訓練 |
| 7月 | 2日(月) | 青少年街頭活動 | 11月 | 22日(木) | 青少年街頭活動 |
| 7月 | 6日(金) | 朗読発声ワークショップ | 11月 | 24日(土) | ねこのてさろん クリスマスマス飾り付け |
| 7月 | 13日(金) | 朗読発声ワークショップ | 12月 | 1日(水) | ひと・まち交流館会構畫抽選会 |
| 7月 | 14日(土) | 「りすの会」講演会 はじめの一步「ボランティア講座」 | 12月 | 2日(日) | 菊浜学区防災訓練 |
| 7月 | 20日(金) | 高齢社会に必要なボランティア | 12月 | 8日(土) | はじめの一步「ボランティア講座」文化・環境編 |
| 7月 | 21日(火) | 朗読発声ワークショップ | 12月 | 14日(金) | 「ボランティア講座」京都ライトハウス見学 |
| 7月 | 21日(火) | はじめの一步「ボランティア講座」 | 12月 | 22日(土) | ねこのてさろん開催「クリスマス会」 |
| 7月 | 25日(水) | 第6回きょうぼうふれあい祭参加団体説明会 | 12月 | 23日(日) | 京都市障害者スポーツセンター「クリスマス会」 バザー出店 |
| 8月 | 30日(月) | 日本保険機構の検査 | 1月 | 10日(木) | 朗読発声ワークショップ |
| 8月 | 4日(土) | はじめの一步「ボランティア講座」ボランティア活動の多様性と参加の様態 | 1月 | 12日(土) | はじめの一步「ボランティア講座」障害児編 |
| 8月 | 5日(日) | 「高瀬川まつり」灯籠流し | 1月 | 19日(土) | はじめの一步「ボランティア講座」京都福祉史跡 |
| 8月 | 11日(土) | 第6回きょうぼうふれあい祭参加団体説明会 | 1月 | 24日(木) | 朗読発声ワークショップ |
| 8月 | 25日(土) | 「ねこのてさろん実行委員会」納涼会 | 1月 | 26日(土) | ねこのてさろん 朗読発声体験・発表会 お餅食べよう会 |
| 8月 | 28日(火) | 青少年街頭活動 | 2月 | 4日(月) | 京都生命保険協会御成会贈呈式 |
| 8月 | 29日(水) | 第6回きょうぼうふれあい祭参加団体説明会 | 2月 | 9日(土) | はじめの一步「ボランティア講座」認知症をめぐって |
| 9月 | 1日(土) | 高見講演会 調査員研修会 | 2月 | 17日(日) | ボランティア実践体験講座「車椅子体験」 |
| 9月 | 6日(木) | 京都府福祉大会 | 2月 | 23日(土) | 手引講習会 武地一先生の「認知症ケア」講座 |
| 9月 | 8日(日) | はじめの一步「ボランティア講座」地域・在宅編 | 3月 | 2日(土) | 祭準備委員会 |
| 9月 | 10日(月) | 朗読発声ワークショップ番外編 | 3月 | 24日(日) | 総会 |
| 9月 | 19日(水) | 国際ソロプチミスト京都 寄付贈呈式 | | | |
| | | 朗読発声ワークショップ番外編 | | | |
| | | 第6回きょうぼうふれあい祭開催 | | | |

